

令和 7 (2025) 年度

学校推薦型選抜 (公募制)

法学部
入学試験問題

英語 9:30～10:30(60 分)

論述 10:45～11:45(60 分)

令和 7（2025）年度 学習院大学 学校推薦型選抜(公募制)
法学部政治学科 英語 問題用紙

以下の文章は、Jason Brennan 著、*The Ethics of Voting* (Princeton University Press, 2011) の Introduction の一部を抜粋したものです。この文章を読んで、問題用紙裏面に続く設問に解答してください。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(*The Ethics of Voting*, pp.2-3.)

令和 7 (2025) 年度 学習院大学 学校推薦型選抜(公募制)
法学部政治学科 英語 問題用紙

問 1 : 下線部 (1) について、この文の主語 It は何を指しているか、日本語で解答してください。

問 2 : 下線部 (1) について、ここで言われている responsibility とは何を為す責任のことか、抜粋文章の内容に則して日本語で解答してください。

問 3 : 下線部 (2) は、「重要なのは私たちがどう投票するかであって、私がどう投票するかではない」という文ですが、なぜ一個人の投票は重要性を持たないと述べられているのか、抜粋文章の内容に則して日本語で解答してください。

問 4 : 下線部 (3) について、政治的帰結に影響を与える投票行動以外の要素として、抜粋文章内で挙げられているものをひとつ同定し、日本語で解答してください。

問 5 : 以下の 4 つの文のうち、抜粋文章から読み取れる著者の見解としてもっともふさわしいものを選択し、その記号を解答してください。

- A) 選挙の結果は政治を大きく左右しうが、すべての票が等しく数え入れられる以上、個人が投じる一票が選挙の結果を左右することはほとんどあり得ないため、市民一人一人はなんらの義務も責任も感じずに自由に投票してかまわない。
- B) 選挙の結果は政治の方向性を決定する唯一絶対の権威であるため、市民一人ひとりが責任をもって投票に臨み、一票の影響力を適切に行使しなければならない。
- C) 市民一人ひとりの投票がもつ影響力はわずかなものであるし、また選挙結果は政治を左右する要因の一つに過ぎないが、投票行動は全体としては無視できない影響力をもつため、私たちは無責任な投票をなすべきではない。
- D) 投票は政治を左右する要因の一つに過ぎず、いくら個々人が良い投票をしてもそれが別の政治的要因によって妨げられてしまうことも珍しくないため、投票する市民の道徳的義務を問うよりも、むしろ官僚や政治家の道徳的義務のほうを強く求めているかなければならない。

以上の設問すべてについて、解答に字数制限はありません。ただし、いずれも簡潔に解答してください。また、どの問題についての解答なのかがはっきりわかるようにしてください。

以上

令和 7(2025)年度 学習院大学 学校推薦型選抜(公募制)

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	法学部	志望学科	政治学科	受験番号		氏名	カナ 漢字	
試験科目	英語		備考	解答用紙 裏面使用可		採点欄		

	5
	10
	15
	20
	25
	30